



入船だより

よこはましりつりふねしょうがっこう
 横浜市立入船小学校
 校長 中村 公俊
 学校だより 11月号
 令和4年10月31日発行

体験学習で学んだこと

副校長 長谷川 裕志



10月25日(火)・26日(水)に、4年生と5年生が合同で上郷宿泊体験学習に出かけました。1日目はこの時期にしては気温が低く、寒い一日でしたが、雨が激しく降ることはなく、ほぼ予定通りの活動ができました。2日目は、素晴らしい晴天に恵まれ、縦割りグループでの活動など有意義な一日を過ごすことができました。

1日目、4年生は午前中に金沢動物園の見学。午後から上郷森の家に5年生より一足早く到着し、レンジャーさんによるレクチャーのもと「自然観察の森」の散策を行いました。一方、5年生は午前中に三浦市の「高梨農園」へ行き、農業体験。午後からは横浜市栄区の「プレパークさかえ」に行き、廃油キャンドル作りを行いました。16時前に上郷森の家で合流しました。森の家では4・5年合同の部屋班で活動します。昨年も森の家に宿泊した経験のある5年生が、いろいろと4年生に教えている姿は、とても頼もしいものでした。夕食の後、ミニドームでお楽しみのキャンドルファイヤーを行いました。最後のジンギスカンはとても盛り上がり、アンコールも飛び出しました。子どもたちのもっているエネルギーの大きさを感しました。

2日目は、朝から秋らしい晴天に恵まれました。すがすがしい空気の中、ラジオ体操を行いました。朝食の後、退所式を終え、4・5年合同で、愛川公園へ向かいました。愛川公園では、冒険の森やこども広場で思いっきり活動を楽しむことができました。最後に雄大な宮ヶ瀬ダムの放流に感動して入船小に帰ってきました。

学校に戻ってきた、4・5年生の子どもたちは、満足感でいっぱい表情でした。2日間を通して宿泊体験学習のめあてにもある「4・5年生で協力して活動することのよさを感じる。」ということができていたと思います。人は一人では生きていけません。この活動を通して学んだ、「協力することのよさ」を忘れずに、これから小学校生活にぜひ生かして欲しいと思います。

